

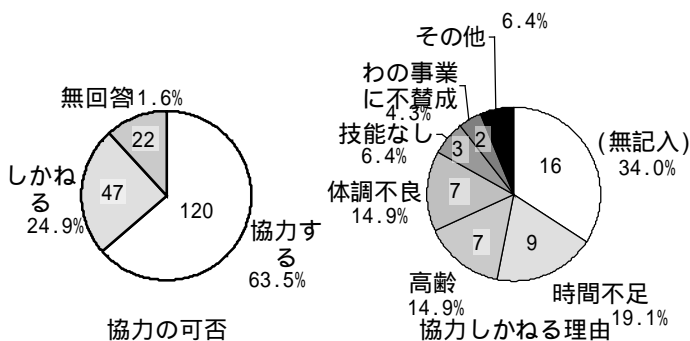
### 会員相互扶助事業に関するアンケートについて

先に「会員相互扶助事業」の実施に向けて検討の参考とさせて頂くため情報ぎやらりーにアンケートを同封して、ご回答をお願いしたところ、200通近いご回答を頂きました。ご協力ありがとうございました。

概括的な集約結果は以下の通りです。

まずこのような事業をはじめた場合、協力して頂けるかについては、下左図に示すように189通の回答中120人(63.5%)の方が協力するとの回答でした。一方協力できないという回答が47通あり、その内訳を下右図に示します。

相互扶助の報酬に対して伺った結果には163の回答がありましたが、無料は3通のみでした。報酬額は500円が97通(5



9.5%)、ついで1000円が32通(19.6%)で、この2つでほぼ80%を占めました。交通費をプラスする回答もありましたが、18通(11%)にとどまりました。

支援内容には182名の方から回答がありました。15位までの内容と回答数を下の表に示します。複数回答があったため総数は回答者数を上回っています。

以上から最大公約数的にはご賛同の意思が伺えました。問題点を十分検討し、新年度に向け事業案を策定することにします。

順	支援内容	回
1	買物代行、買物介助	82
2	庭の掃除、手入れ、除草、旅行時の水遣り	79
3	病院等への付添い、介助、投薬受領	66
4	炊事、洗濯、掃除	65
5	散歩、外出介助	59
6	話し相手	54
7	簡単な便利大工	44
8	家具の置換え、部屋の模様替え	37
9	手続き代行	32
10	学習相談(パソコン、絵など)	32
11	観劇やスポーツ観戦介助	22
12	悩み相談、よろず相談	19
13	生活情報の探索、取得、提供	18
14	布団などの虫干し、乾燥	15
15	支払い代行	13

### 「うたごえ大祭典」協賛金ご協力のお礼

「うたごえ大祭典」がシルバーカレッジのキャンパスを舞台に、在学生に加え、カレッジOB、地域の人たちの参加も得て昨年12月1日催されました。これは、阪神大震災10年を迎え、神戸からの発信ということで、「してきたコト」を総括し「これからするコト」を表明しようと企画されている色々なイベントの一環として、シルバーカレッジからも発信しようと、在学生が主体的、自主的に企画実施したものです。当日千名余がカレッジに参集、プログラムが展開される中カレッジのモットー、他のために...の更なる発揚を確認しました。

「うたごえ大祭典」実施に際しては、同実行委員会からの協賛金協力依頼を会員の皆様にお伝えし、お願いしましたが、わ 会員の協賛金は、118名の方から目的額10万円を大幅に超える14万8千6百円の協賛振込みを頂きました。ありがとうございました。なお、ご協賛頂いた方々へは実行委員会からとして、KSCの1期生の震災体験文集記録のCDとうたごえ大祭典記念文集の冊子を わ 事務局からお送りしました。ただ振込み依頼者の氏名しか分からない形の振込み様式であったため、事務局の名簿の住所から変わった方には記念品が渡し漏れになっている恐れがあります。お心当たりの方は わ 事務局までご連絡ください。

### 基金ご協力のお礼

神戸市シルバーカレッジに、太陽光発電所を設置するにあたり、「基金」を募りましたところ、グループの会員様をはじめ、卒業生、在校生、事務局職員・諸先生、その他関係先の皆さまのご協力で、806名の個人と4団体から、当初目標75万円(基金充当分)を上回る総額101万5000円の基金をいただきました。厚く御礼申し上げます。

設置は11月中旬に、その付帯設備工事が順調に施工され、12月17日に関係者による設備の立会い検査と検収を行い工事は完了しました。

余剰金を皆様に親しまれる別の太陽光発電関連設備の追加、検討をするまでにいたっております。

なお、竣工および基金の報告とお礼を兼ね、1月25日(火)に各グループの代表者にご出席をいただき「報告会」を開催し、その後学校へ当該設備管理を引渡し、発起人一同の任務を終了いたします。

太陽光発電所設置と基金募集発起人会一同

代表 松井 勝明